

施設保全管理研修

【概要】

施設保全管理研修では農業用水利施設の機能・性能にかかる設計、診断・評価、補修・補強、ライフサイクルに関する講義、並びに機能診断実習及び性能設計関連の試験や演習などを行っています。

【主な講義内容】

- 施設保全管理に関する事業制度、現状と課題
- 農業用水利施設の機能診断と保全管理
(コンクリート構造物、施設機械、ため池等)
- コンクリート構造物の構造機能診断調査実習
- ポンプ設備の機能診断
- RCはりの破壊試験
- 限界状態設計法の演習
- 各地区の事例 など



RCはりの破壊試験
(はりの作製)

RCはりの破壊試験
(破壊試験)



機能診断調査実習
(自然電位測定器による鉄筋腐食状態の推定)



機能保全演習(農業水利施設の劣化予測)



新しい診断技術の実演(マイクロSCOPE)

【受講生アンケート(一部)】

- ストックマネジメントの目的について、広い視点からの話が聞けた。
- 機能保全対策の各段階における課題の検討について具体的に話があり参考になった。
- 実際に機器を使用しての講義により、性能測定の手法の参考になった。
- ライフサイクルコスト、機能保全コストの算出手法について理解できた。
- 実際に試験を行い、結果を解析することで鉄筋コンクリートの特性を理解でき、非常に参考になった。
- 様々な調査診断を実習することができ、とてもよい勉強になった。
- ポンプの機能診断の新工法の説明があり、大変役に立った。
- ため池の耐震性能に対する考え方について、理解できた。
- 限界状態設計について業務で関わったことがなく、新たな知見を得ることができた。
- メンテナンスについて、とても貴重な話を聞くことができた。

【実施期間】

平成25年 9月30日～10月11日(2週間)